

地震

神奈川県寒川町

大震災記念碑
(1923年関東大震災)

伝承内容

大正13年(1924)建立の 関東大震災の記念碑。碑の正面には大地震の発生日時、背面には寒川村一之宮地区176戸のうち164戸が全壊、12戸が半壊したこと、被害額、死傷者の名前などが書かれている。



地震

千葉県鎌ヶ谷市

震災記念
(1923年関東大震災)

伝承内容

大正12(1923)年9月1日午前11時58分に発生した大地震(関東大震災)は、京浜を中心に家屋消失32万戸死者10万人以上の大被害をもたらしたが、わが村は建物被害は極めて少なく死者はなかった。有志にて記念碑を建設し後世に伝える。



津波

千葉県一宮町

延宝の津波供養塔
(1677年延宝の津波)

伝承内容

延宝5年(1677)10月に発生した地震により、津波が発生、現在の宮城県から静岡県伊豆東海岸までを襲った。この津波により東浪見地区では流された家屋は数知れず、143名の命が奪われた。



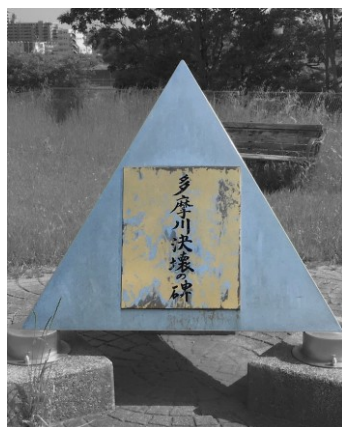
洪水

東京都狛江市

多摩川決壊の碑
(1974年多摩川水害)

伝承内容

昭和49年(1974)台風16号の影響で多摩川の水位が上昇し、この増水により、ニヶ領宿河原堰の取付部護岸の一部が破壊された。激しい迂回流により高水敷が浸食され、本堤防が決壊し、家屋19棟が流失する被害をもたらした。



洪水

埼玉県加須市

決壊口跡
(1947年カスリーン台風)

伝承内容

昭和22(1947)年9月、カスリーン台風が関東地方を襲い、13日の深夜にこの地で堤防が決壊した。濁流は東京まで到達し、未曾有の大災害により利根川流域では多数の人命と家屋が奪われた。



洪水

山梨県北杜市

水難之碑
(1959年台風7号)

伝承内容

昭和34年(1959)8月14日、台風7号により下三吹地区を土石流が襲い、12名の命が奪われ、家屋67世帯、耕作地40町歩が被災した。

